アムリンの日記

10年の嘲り。10年の投獄。10年の追放。

人間にホワイトランの牢獄へ引きずられながら、子供に石を投げられ女性に唾を吐かれた。“狂った”“イカれた”と言いながら、哀れな存在にとって私が危険だという烙印を押したのだ。狂った者が見つからずに脱獄できるだろうか？愚か者に彼らの目と鼻の先に研究所を設立できるだろうか？精神を病んだ者がただのスキーヴァーから強力な軍を作れるだろうか？

ウィンターホールドでの錬金術師見習いとしての生活も大して変わらない。わがままな自慢屋たちも私の能力には敵わなかった。彼らが及ばないところで、私は常に優っていた。彼らは私の才能を評価したか？彼らは貢献に感謝したか？しなかった。指導者には殴られ無責任だと言われ、アークメイジは私をよくいる物乞いのように通りへ放り出した。

敵が油断して弱くなり、アムリンとその絶対的な才能を忘れている間に、私は軍を作った。知る限りの知識をすべて用いて、奴らに死を与えるのだ。サビョルンの意識しない援助のおかげで、軍団は日々強くなった。彼の汚い飲み物と同じ材料が子供たちを育てている。皮肉なものだ。

彼らは償うだろう。差し迫った死に対する無知は面白いものだ。ホワイトランを埋め、燃えるウィンターホールドを見よう。そして私の怒りを味わい、子供たちが骨から肉を食る時、彼らは足元にひれ伏して許しを請うだろう。だが、容赦はしない。寛大な処置も慈悲もない。そして私はズタズタになって壊れた亡骸を笑い、踊り、祝う。償いの時は来た。

痛みの10年。苦難の10年。死の10年。

アムリンの日記

FormId	skyrim.esm:10B2CD
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	10B2CD
Editor ID	TG03HamelynsJournal
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal
Value (gold)	75
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.